



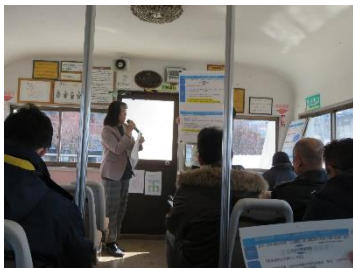
# 諏訪湖通信70号

令和6年4月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 「諏訪湖の浚渫勉強会」を開催しました

令和6年3月14日(木)に諏訪湖観光汽船遊覧船「すわん」にて勉強会を開催しました。(参加者 53 名)。この勉強会では令和5年度「諏訪湖の浚渫課題ワーキンググループ」において検討してきた利水・生態系保全を目的とした試行的な浚渫について一般県民の方々も交えて実施し、浚渫に対する知識や理解を深めました。今回、試行的な浚渫箇所が「初島周辺」ということで遊覧船に乗りながら、浚渫工事の施工業者である(株)シガテクノスの協力のもと、工事現場を間近で見学することができました。また、諏訪地域振興局伊東企画振興課長からは諏訪湖の浚渫の歴史や目的、その達成状況などこれまでの経緯について、また、諏訪建設事務所大郷主査からは現在の諏訪湖で実施されている治水工事や、水質浄化の取組など浚渫工事以外のことについても説明がありました。



遊覧船『すわん』内 勉強会の様

### 【工事の紹介】

#### ・測量 (R5.12)

GPS、測深器を備えたラジコンが浚渫予定箇所付近の湖面を縦横に走り、深さのデータを蓄積するというもので、陸上の調査では見られない、湖ならではの手法です。調査に携わる作業員の皆さんは、ゴムボートに乗り込みラジコンに沿いながら湖の沖に向けて出発します。午前中から始まった作業は丸一日がかりで、時間帯によっては風が強く波立つこともありましたが、無事に測量を終えることができました。



ラジコンとゴムボートに乗った作業員

水深を測るラジコン

#### ・工事(現場作業は R6.4 月末まで)

浚渫エリアは初島周辺の約 2400m<sup>2</sup>、掘削量は 2400m<sup>3</sup> の計画で作業を進めています。工事による水質への影響を配慮して汚濁防止膜を設置の上、台船にのったバックホウが掘削し、浚渫した底泥は土運搬船に積込、それを陸まで運搬し揚土します。その他、浚渫前後では生物調査を実施し浚渫工事がどのような影響を及ぼすかについても調査していきます。



浚渫工事の様子(遊覧船上より)



改良土 ← 改良剤 + 浚渫土

## 諏訪湖環境研究センターが開所しました

令和6年4月1日に岡谷市(男女共同参画センター建物内)に設置された諏訪湖環境研究センターの開所式が、4月9日(火)に行われました。

当日は、雨や風が強く生憎の空模様でしたが、多くの皆様がお集まりくださり、開所式がスタート。阿部長野県知事の挨拶や早出岡谷市長からのお祝いの言葉に続き、下諏訪町木遣保存会の小口副会長による木遣り唄に合わせて、知事と高村センター長が看板を掲げるセレモニーを実施し、地域の魂を込めていただきました!

セレモニーの後は、施設見学へ。展示や最先端の機器を集めた研究室などをご覧いただきました。

センター玄関ホールでの展示については、皆様にご覧いただけるよう開放していますので、ぜひ遊びにいらしてください。その他の展示につきましては準備が整い次第お知らせしますので、しばらくお待ちください。



開所式の様子



玄関ホールの学習展示

## 諏訪湖開き安全祈願神事が開かれました

令和6年4月12日(金)に「第65回諏訪湖開き安全祈願神事」が手長神社で開かれました。

観光シーズンの幕開けを前に、今年一年の諏訪湖の安全を祈願する神事です。神事では湖周3市町の首長・観光協会の長などが参列し、玉串を奉納しました。宮司は、観光客の方や諏訪湖を利用する方が今シーズンも安全に楽しめるよう祝詞を奏上されました。

当日は良く晴れており、境内からは桜と諏訪湖を眺めることができました。手長神社は高台にあり、諏訪湖を見渡す絶好のロケーションです。是非足を運んでみてください。

諏訪湖サイクリングロードの全線開通で湖周を楽しむ方が増えています。観光客や地域の皆さんが諏訪湖で楽しい思い出を作ってほしいと思います。



神事の様子



手長神社から望む諏訪湖

### ☆お知らせ☆

令和6年5月28日(火)午後(場所: 諏訪湖環境研究センター) 第12回 諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催します。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901